

学齡期の支援で大切なこと

～今，仙台市に必要なこと～

仙台市立大和小学校

特別支援教育コーディネーター

渥美 英樹

# 学校現場の現状

- 1 発達障害・いじめ・不登校・学力低下・新学習教科  
(英語・道徳)・体力低下・生徒指導・  
ネットやゲーム等での生活リズムの乱れ・・・

→**課題が山積み**:ゆとり無し 子どもとじっくりと関わる時間が  
なかなか取れない

# 学校現場の現状

## 2 発達障害児への支援

**特別支援学級在籍児童** → 放課後等デイサービス等の利用  
もあり、福祉とのつながりもある

**通常学級在籍児童** → 診断名などもなく、福祉との  
つながりはない

**支援の中心は  
「通常学級在籍児童」**

# 学校現場の現状

**3** 各学校に特別支援教育コーディネーター（以下、Co）が配置されている（複数配置）

※特別支援教育Co：

特支Co養成研修会を受講したものの。Co向上研修会も実施されており専門性を高めている。また、Co連絡協議会（中学校学区でのグループ編成）で縦横のつながりも。

# 学校現場の現状

## 4 連携

幼稚園・保育所・児童館など関わる関係機関とのつながりも強くなっている。

Co同士はもちろん担任レベルでも互いに情報共有を図ったり、現状や支援の様子なども共有して支援

# 学校現場の現状

「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を作成して対応しているが・・・

- ・校内支援で完結しているというのが現状・・・身近な将来を見通した計画に留まる。
- ・本人中心というよりは、学校中心（学校で作成して保護者へ説明・承認）本人・家族と話をしながら共につくる計画づくり

→そのためには、本人へ関わるすべての人が計画・実践・評価に関われると・・・

生涯を見通した計画（生涯支援計画）になるのではないか＝切れめのない支援

# 大和小学校特別支援Coとしての実践例

## 1 学校に「個別学習室」が設置されている

※学校長の判断で学校運営上の必要として設置

特別支援Co & 不登校支援Coを兼任 + 個別の抜き出し指導担当  
ということで担任外で個別学習室専任で対応している

→時間割を作成して学習支援 + 不登校支援

保健室（養護教諭）との連携・生徒指導主任との連携・担任との連携さわやか相談員やSCとの連携を意識して常に情報共有しながら対応している

# 大和小学校特別支援Coとしての実践例

## 2 ケース会議・訪問授業での支援＋普段の課題へのアドバイス

- ・学級対応→学年対応→学校全体で対応（チーム支援）

様々な立場から背景理解と手立てを検討→定期的に振り返り・見直し

※旧担任や前年度同学年者がいればチームに入ってもらうことも

- ・訪問授業

クラス担任が直接指導するよりも第3者話題を提供し授業をすることで、

客観的な意見を得て日頃の生活や対応を考えるきっかけにできる

（対人トラブルで難しくなったケースで実施）

# 大和小学校特別支援Coとしての実践例

## 3 保護者面談（福祉へ橋渡しを含む）での支援

- 担任－保護者での面接の際に同席

個別学習時の様子から成果と課題～これからの進路や関係機関へのつながり

担任から直接言いにくいことは特支Coの立場から（福祉を知る強み）

関係機関で言われたことや結果などについても現場での活動に落としとして伝える

# 大和小学校特別支援Coとしての実践例

## 4 本人支援

「安心・安全な居場所づくり」 ～クラスとの関わりも考慮して～

※ 1対1対応を基本に

「クールダウンの場づくり」～気持ちの切り替え～

ステップ1 楽しい環境（学習以外の関わり＋お話し）

ステップ2 じっくりと関わる時間（話をしっかり聞いてあげる）

ステップ3 学習＋クラスでの活動（段階的に少しずつ）

「子どもの視点や思いを大切にした関わり」

→信頼関係の構築が大前提

# 特支Coとして期待される役割， 関係機関との連携協働

★学校の対外的な窓口・教職員のコーディネート＝教頭先生

## 特支Co

→配慮を要する児童・担任・保護者へのアドバイスやコーディネート

困り感にすぐに寄り添える

子どもを中心に置いたコーディネート力が期待されている

チームをどう動かして子どもの生きやすさをつくっていくか・・・

## 連携協働

→ 顔の見える関係・切れめない支援（切れない支援）

教育の視点だけでなく福祉の視点も合わせていく必要性

これまでの教育は「管理下内」が中心 今後は「管理下外」も含め

# コーディネーターとして大事にしている子どもたちの姿

1 かわいがられる子ども

2 相談できる子ども

(SOS発信ができる子：つながれる子ども)